



News Release

2020年8月25日

株式会社東邦銀行
東邦情報システム株式会社
NTT東日本福島支店

ICTを活用した地域経済の活性化に向けた業務提携について ～株式会社東邦銀行、東邦情報システム株式会社、東日本電信電話株式会社との連携～

株式会社東邦銀行(頭取 佐藤稔、以下「東邦銀行」、東邦情報システム株式会社(社長 横山貴一、以下「TIS」と東日本電信電話株式会社 福島支店(支店長 山貫昭子、以下「NTT東日本」)は、地域の企業のお客さまへのICT利活用支援についてお互いに連携し、地域経済の活性化に寄与する取り組みを行うことを目的に、8月25日(火)に業務提携しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 背景・目的

新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式、テレワークや在宅勤務等多様な働き方への対応として、ICTの利活用による業務の変革が急務となっております。

また、人手不足、業務効率化、生産性向上といった企業が抱える様々な経営課題に対して、ICTソリューションにより解決する等、企業のデジタル化も重要なものとなってきております。

このような背景のなか、東邦銀行、TIS、NTT東日本は、ICTを活用した地域経済の活性化を目的に業務提携を行い、ICTソリューションによる企業のデジタル化支援等に連携して取り組むこととしました。

今回の業務提携により、お客さまの経営課題に対して多面的にアプローチを実施することで、お客さまの課題解決や業務変革を促進し、地域経済の発展に寄与したいと考えております。

2. 各社の役割

東邦銀行	・取引先企業のさまざまな経営課題を把握し、ICTコンサルティングの要望がある企業をTISに紹介。
TIS	・東邦銀行取引先企業の経営課題の解決に向けた最適なICTソリューションを提案。 ・NTT東日本のICTソリューションにマッチしたお客さまを紹介。
NTT東日本	・TISから紹介のあった取引先企業へ共同でICTソリューションを提案。 ・TISがNTT東日本商材の提案を行う際の後方支援。

3. 「デジタル化」に向けたICTソリューション例

TISは、AI^{*1}の活用により、手書き文字を含めて96%^{**2}以上の高い認識率を実現したNTT東日本のOCRサービスについて、商材愛称を「らくらくAI-OCR」として8月24日(月)から提供します。RPAと組み合わせ、紙帳票などのデータ化からシステム投入までの作業を自動化するなど、複数のICTソリューションにより業務の効率化を実現します。

※1 AI inside 株式会社の文字認識技術を活用しております。

※2 NTT 東日本が 2018 年度第 2 四半期に実施したトライアルにおける実測値です。

識字率 AIの活用による高い識字率

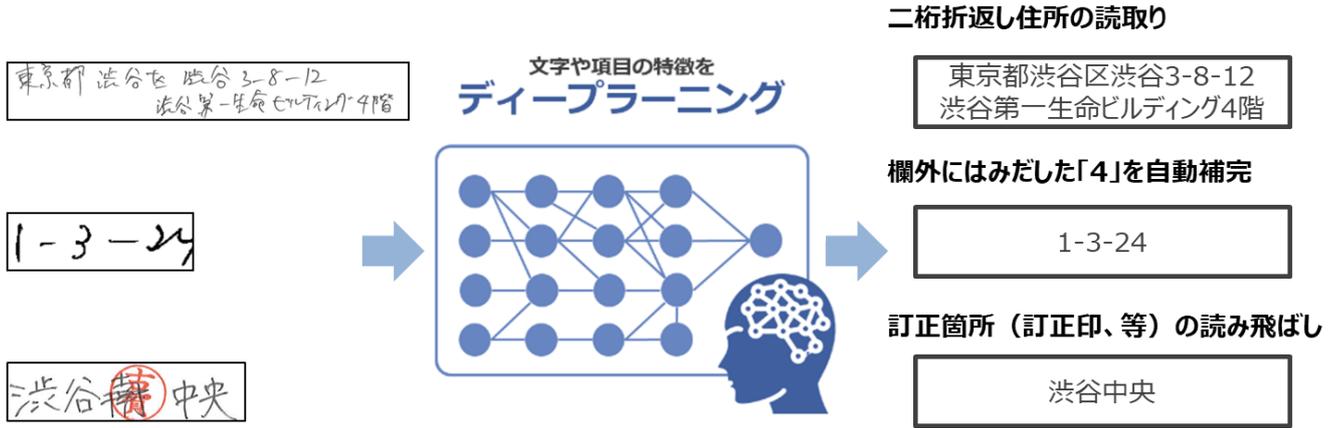
- ・ ディープラーニング、住所DB等を用いた補正による高い識字率 **(トライアルでは96%以上)**

利便性 情シスがない企業でも使いこなせる

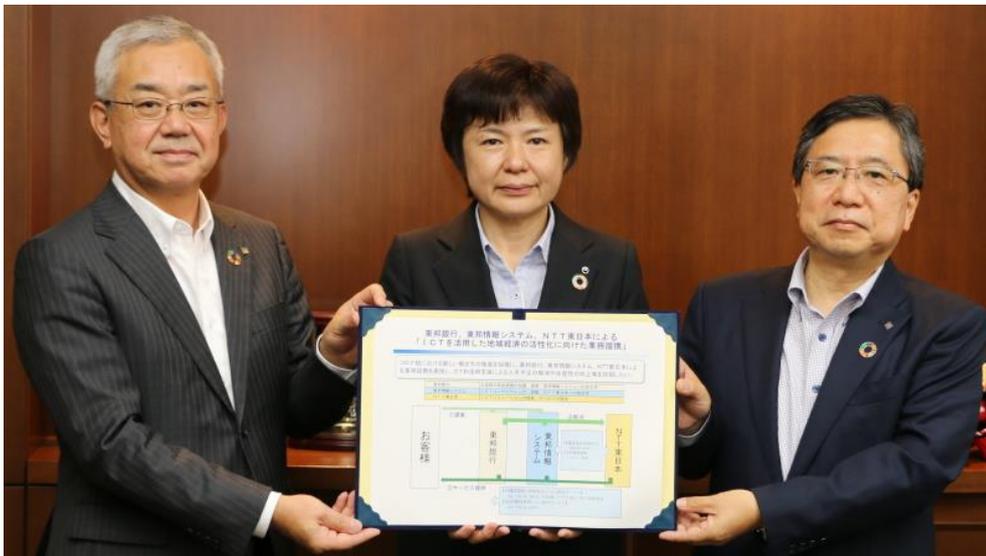
- ・ 直感的で分かりやすい利用者画面、更に設定や操作を遠隔でサポート (年中無休)

効率化 作業自動化による大幅な稼働削減

- ・ RPAとの連携により、紙のデータ化からシステム投入まで自動化することで稼働を削減



<参考> 連携合意時の模様



左から 東邦銀行 佐藤頭取、NTT東日本 山貫支店長、TIS 横山社長